

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	加西市立賀茂小学校
取組の名称	地域名産「ハリマ王にんにく」 継承プロジェクト ～ 生産から販売、調理を通して ～
実施時期	6月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べよう ☐ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☐ 8 食べ残しをなくそう ☐ 9 産地を応援しよう ☒ 10 食・農の体験しよう ☒ 11 和食文化を伝えよう ☒ 12 食育を推進しよう
取組内容	実施日：6月 8日(月)ハリマ王にんにくの収穫 6月27日(土)ハリマ王にんにくの販売 6月30日(火)ハリマ王にんにく調理実習 参加者：3年生児童 17名 収穫…生産者(1名) 販売…保護者(50名) 調理実習…ふるさと創造会議・料理家・生産者(10名) 3年生の児童は、地域の「ハリマ王にんにく」生産者と、昨年10月ににんにくの植え付けを行い、今年5月に芽取り(大きく立派に育てる為)作業をし、6月8日に収穫しました。 収穫後は、風通しの良い軒下に吊るして乾燥させました。数日後、乾燥させたハリマ王にんにくの外皮を丁寧に剥き、余分な根を切り落とす調整作業をしました。また、重量や直径を測定し、サイズや品質ごとに分類・選別するプロセスを通じ流通規格の仕組みを学習しました。 販売日は、児童によるハリマ王にんにくの歴史劇(戦後、竹やぶでの野生化から復活)も保護者に上演しました。 調理実習では、賀茂地区ふるさと創造会議の皆さんの支援の下、料理家を迎えて、収穫したニンニクを使ってカレーピラフととり手羽中にんにく焼き、デザートにフルーツゼリーを作りました。昼食会には、お世話になった生産者の「にんにく博士」も招待しました。 学校・ふるさと創造会議・地域農業の3者が一体となった食育の場を創出し、長年の継承と新たな取組に、高い評価を得ました。



【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	加古川市
取組の名称	夏野菜を育てる
実施時期	6 月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べよう ☒ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☒ 8 食べ残しをなくそう ☐ 9 畜産を応援しよう ☒ 10 食・農の体験をしよう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☐ 12 食育を推進しよう
取組内容	0～3 歳児はクラスのプランターに 4.5 歳児は一人一鉢自分が選んだ野菜を植えました。4.5 歳児が選んだ野菜のひとつにミニトマトがあったのですが、0～2 歳児も遊ぶ園庭で、もし小さい子が実っているミニトマトを口にし、喉に詰まらしてしまったらどうしようという心配を 5 歳児のこども達に話すと、「野菜のおうちをつくって、簡単に入れないようにしたらどうかな？」という意見が出ました。みんなで話し合った結果、イチゴ狩りに行ったこどもがイチゴをビニールハウスの中で収穫した経験から、鉢の周りをビニールで囲むことになりました。 最初はミニトマトの鉢のみを囲っていたのですが、「ミニトマトだけいいな～」「他の野菜も入れよう！」という声上がり、3～5 歳児が育てている野菜すべてを入れることになりました。 透明ナイロンに絵や模様を描いたり、入口にはジョーロを持ったまま入ることができるようにスズランテープを付けたりして、特別な『みんなのやさしいハウス』ができあがりました。 こども達はこの野菜ハウスがお気に入りです。毎朝、水やりをしたり、生長の様子を見たりして収穫を楽しみにしています。 この『みんなのやさしいハウス』をつくることで、野菜を大切に育てたいという思いが強くなり、愛情をもって育てる姿が見られるようになりました。友達が育てている野菜の生長にも興味をもち、生長の様子を友達と共有し合ったり、収穫を喜び合ったりと食への興味や感謝の気持ちにもつながっています。

